FOREX.com

「マーケット急変時の対処法」

2019年2月21日

アセンダント　山中康司

はじめにお読みください

＜当社主催のセミナーについて＞

- 本セミナーにて紹介する内容は、為替取引に関する情報ですが、通貨の種類に関わらずその売買を推奨するものではありません。
- 本セミナーにて紹介する内容は、特定の投資目的、金融情勢、あるいは特定の方のニーズを考慮ものではありません。
- 本セミナーにて紹介する情報は、信頼できる情報源から入手されたものですが、その正確性、完全性を保証するものではなく、当該情報または意見を信頼したことに起因して発生するいかなる直接的、間接的または結果的損失についても、弊社はいかなる責任も負いません。投資に関する判断の最終決定は、ご自身で判断されますようお願いいたします。
- 当セミナーおいて、弊社の外国為替証拠金取引への勧誘を行う場合もございます。
- アセンダントおよびフォレックス・ドットコムは、本日のセミナーで示す手法の利用により生ずるいかなる損害の責任を負うものではありません。

© Ascendant Inc.

スプレッド縮小キャンペーン

- キャッシュバックキャンペーンも継続中

© Ascendant Inc.

本日の内容

- 事前にいただいた質問から
- マーケット急変時の対処法
  - マーケット急変の例
  - ストップロスの考え方
  - 資金管理について
- 現状の相場
  - ドル円、ユーロドル、ポンド円

© Ascendant Inc.

短期と長期の急変代表例

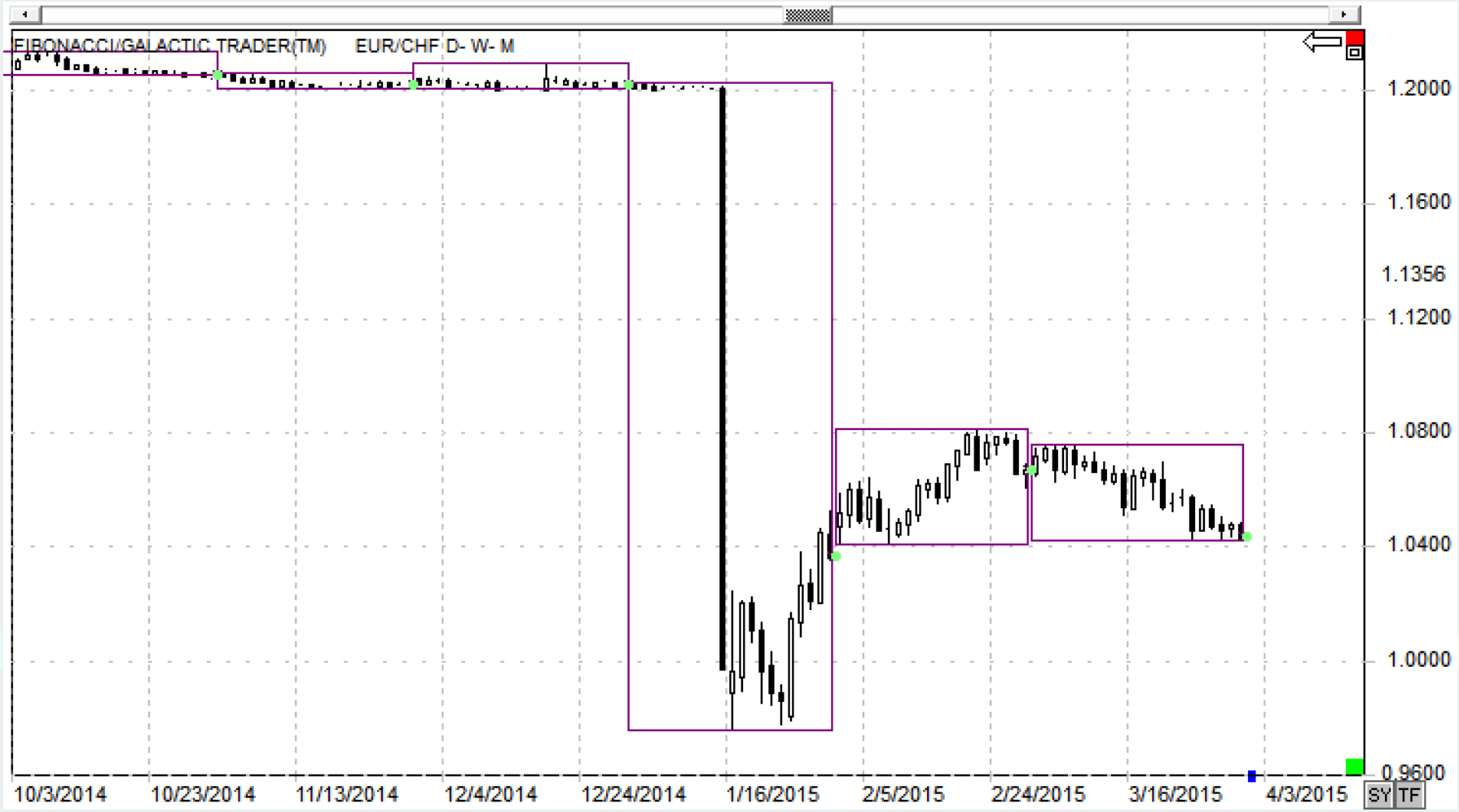
＜短期急変＞ スイスショックは変動相場制移行後で最大

	変動前	CHF高値* *CHF高値は参考値	変動幅（変動率）
EURCHF	1.20096	0.82448	3764.8 (31.3%)
CHFJPY	115.022	166.231	5120.9 (44.5%)

＜長期急変＞	変動前	当日	年末
プラザ合意	241.80	225.30	200.55
1985年9月		(6.8%)	(17.1%)
LTCM危機	130.05	118.80	111.45
1998年10月		(8.7%)	(14.3%)

© Ascendant Inc.

スイスフランショック・2015年1月



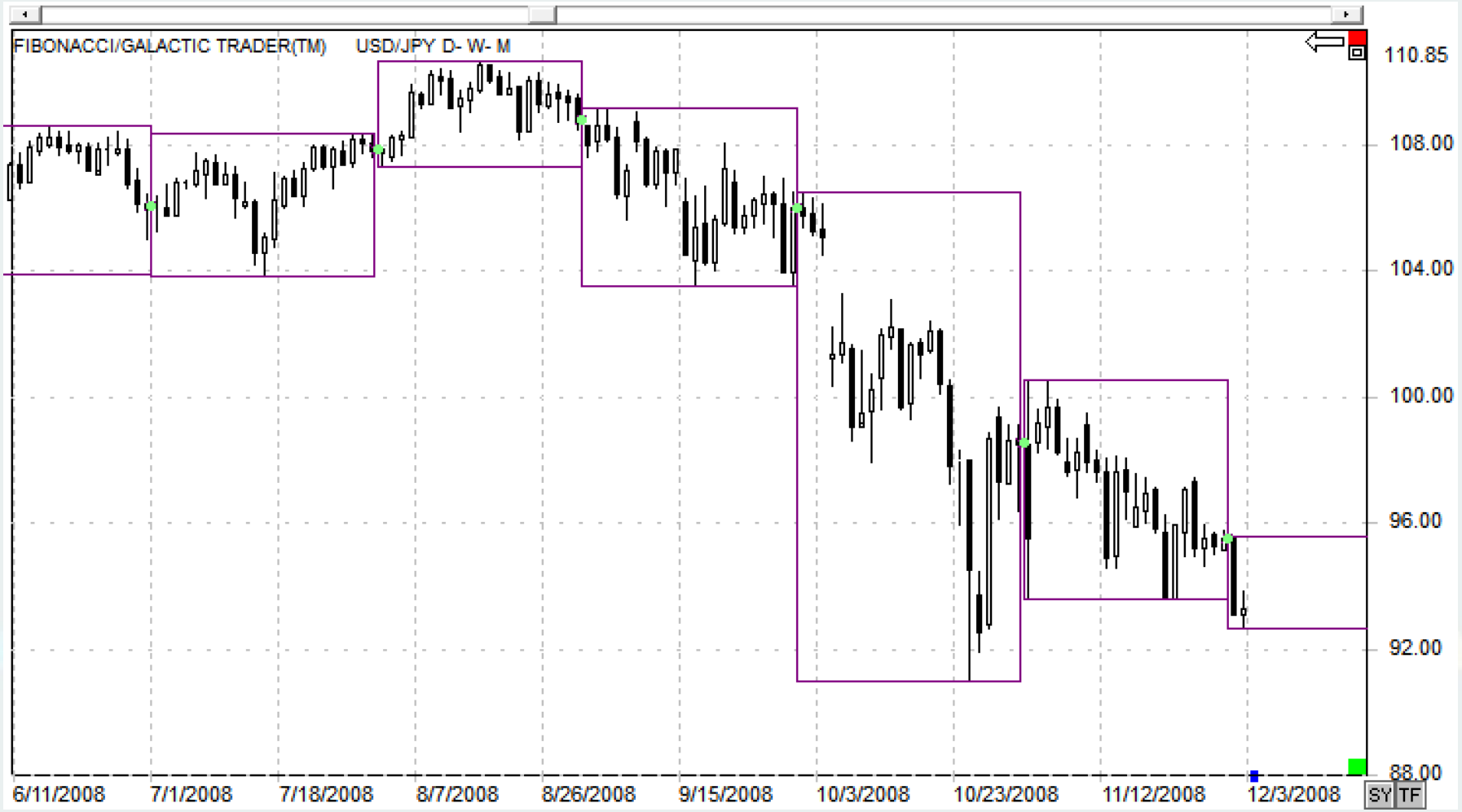
© Ascendant Inc.

他の歴史に残る急変例

- 為替政策の転換等
  - 円切り上げ（1971年）＝17%切上げ
  - NZD切り下げ（1983年）＝ 25%切下げ
  - GBPERM離脱（1992年）＝7%下落（ERM=2.25%）
  - MYRオフシュア市場閉鎖（1998年）＝15%切上げ
- リーマンショック（2008年9月15日）
  - 前週終値　107.95　→　当日安値　104.53 (3.2%)
  - 12月安値　87.13　（19%）

© Ascendant Inc.

リーマンショック・2008年9月



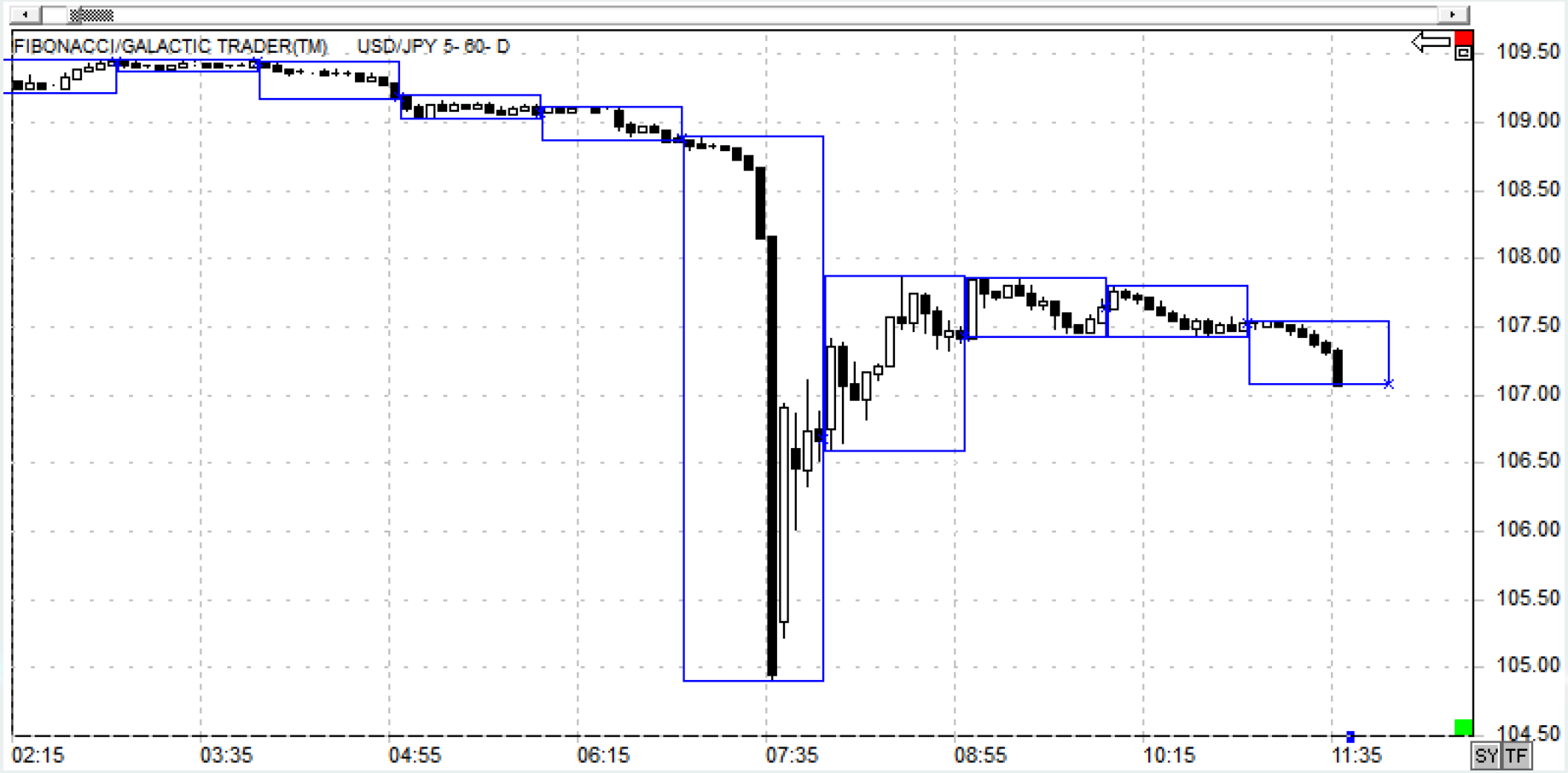
© Ascendant Inc.

短期と超短期の急変例

- RUB急落（2014年）＝2日間で37%のRUB安
- TRYJPY急落（2018年）＝2日間で23%のTRY安
- USDJPYフラッシュクラッシュ（2019年1月3日）
  - USDJPY＝10分以内に3.7%の円高
  - TRYJPY＝10分以内に7.9%の円高
    - すべての円クロスで軒並み円高となる

© Ascendant Inc.

フラッシュクラッシュ・2019年1月



© Ascendant Inc.

FX業者における未収金発生

- 2019年1月のフラッシュクラッシュ
  - 6598件、9億4300万円の証拠金不足
  - 1件平均142,922円
- スイスフランショック
  - 1229件、33億8800万円の証拠金不足
  - 1件平均2,756,813円

© Ascendant Inc.

未収金（証拠金不足）発生の理由

- ストップロスを置かないことによる強制決済
  - もしストップロスを置いていたら

- スリッページの発生
  - 業者カバー先（インターバンク）の流動性に問題
  - ストップロスを置く水準によっては影響は小さい

© Ascendant Inc.

過去の急変を見てきて思うこと

- 過去に無かったことが常に起こり得る
  - FXの場合、1日の変動幅にしても、一定期間経過後にしても20%を超えるような動きは稀ではある
  - 商品相場では、時に恐ろしい大変動
    - 横浜馬鈴薯（期近） 2004年4月14日2359円
    - 2004年4月15日納会　65円！（97% 暴落）
- 固定・半固定相場は歴史的に成功が無い
  - 固定相場の崩壊は事前に兆候が見られる

© Ascendant Inc.

急変時のストップオーダーについて

- 長期保有の場合
  - 20%を超える変動は稀
    - 20%を超える＝異常事態
  - 20%安にストップを置ける余裕ある証拠金

- 短期売買の場合
  - 変動幅は7～8%が目安
  - 損失が証拠金残高の5%を超えないこと
  - デイトレ以下の短期取引では2～3%未満が妥当

© Ascendant Inc.

一般的なストップロスの考え方

- 資金管理をともなったオーダー
  - 証拠金残高の管理
  - 毎回の取引における最大許容損失額
- 利食いオーダー＞ストップロス・オーダー
  - 例：利食い80ポイント＞損切り60ポイント
- 時間経過を考慮したオーダー
  - 特に高金利通貨での売り
  - バーの本数経過での仕切り

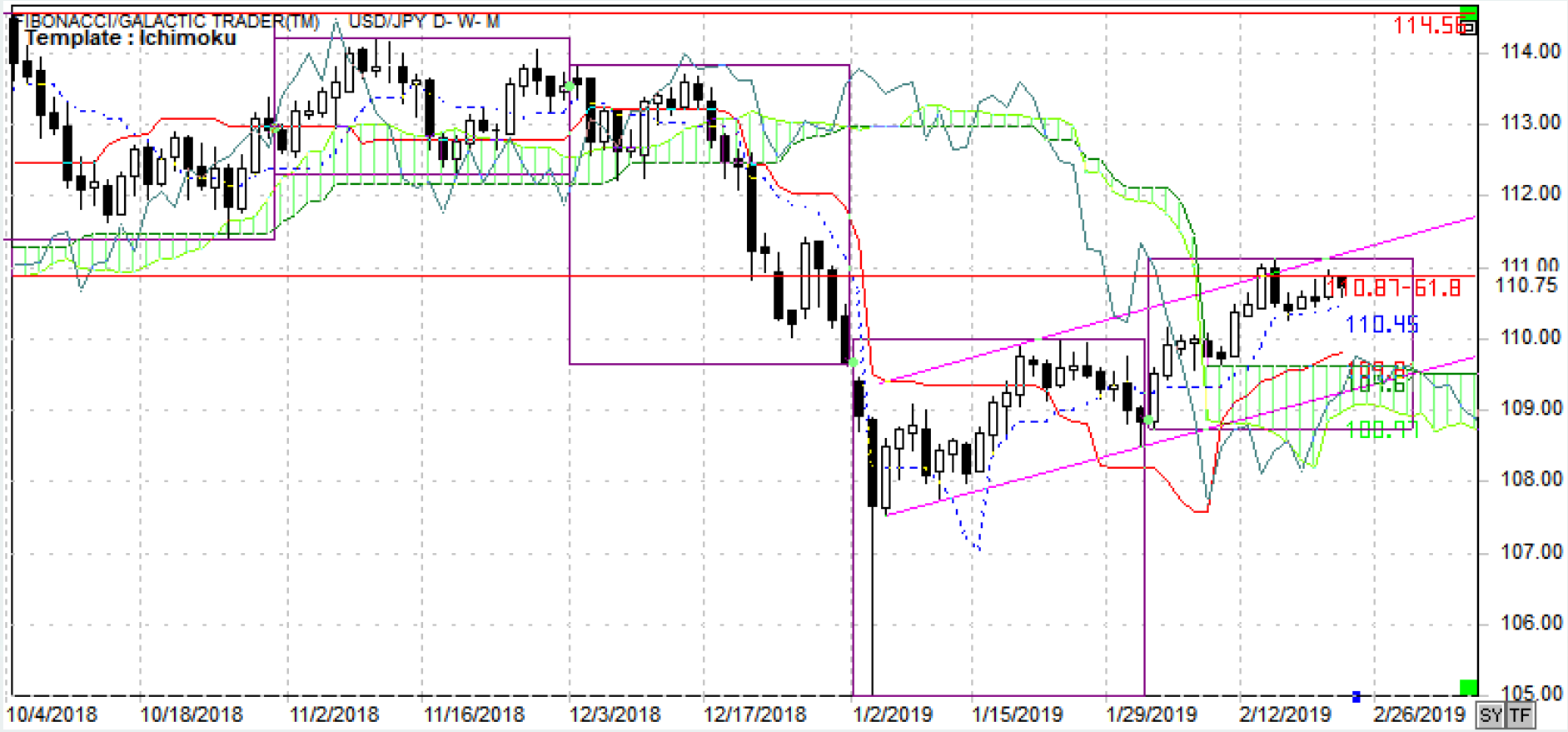
© Ascendant Inc.

取引額の増減

- 基本（守るべきルール）
  - 勝っている時ポジションを増やし、負けている時ポジションを減らす。
    - 例：証拠金に比例した取引額の増減
      - 証拠金が100%増えた→取引額を倍にする
      - 証拠金が50%減った→取引額を半分にする
  - 決して負けている時に取り返そうとポジションを増やしてはならない。

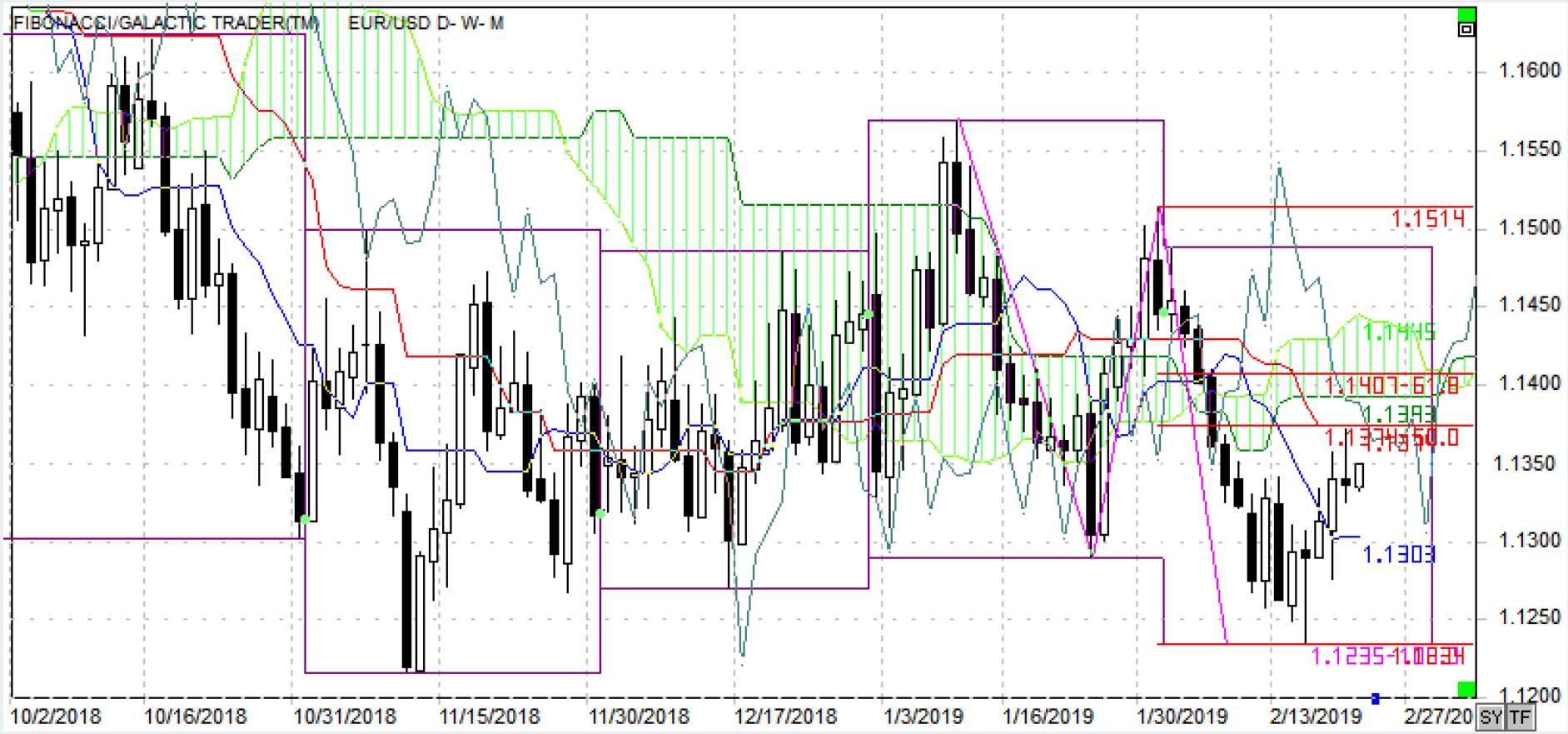
© Ascendant Inc.

ドル円



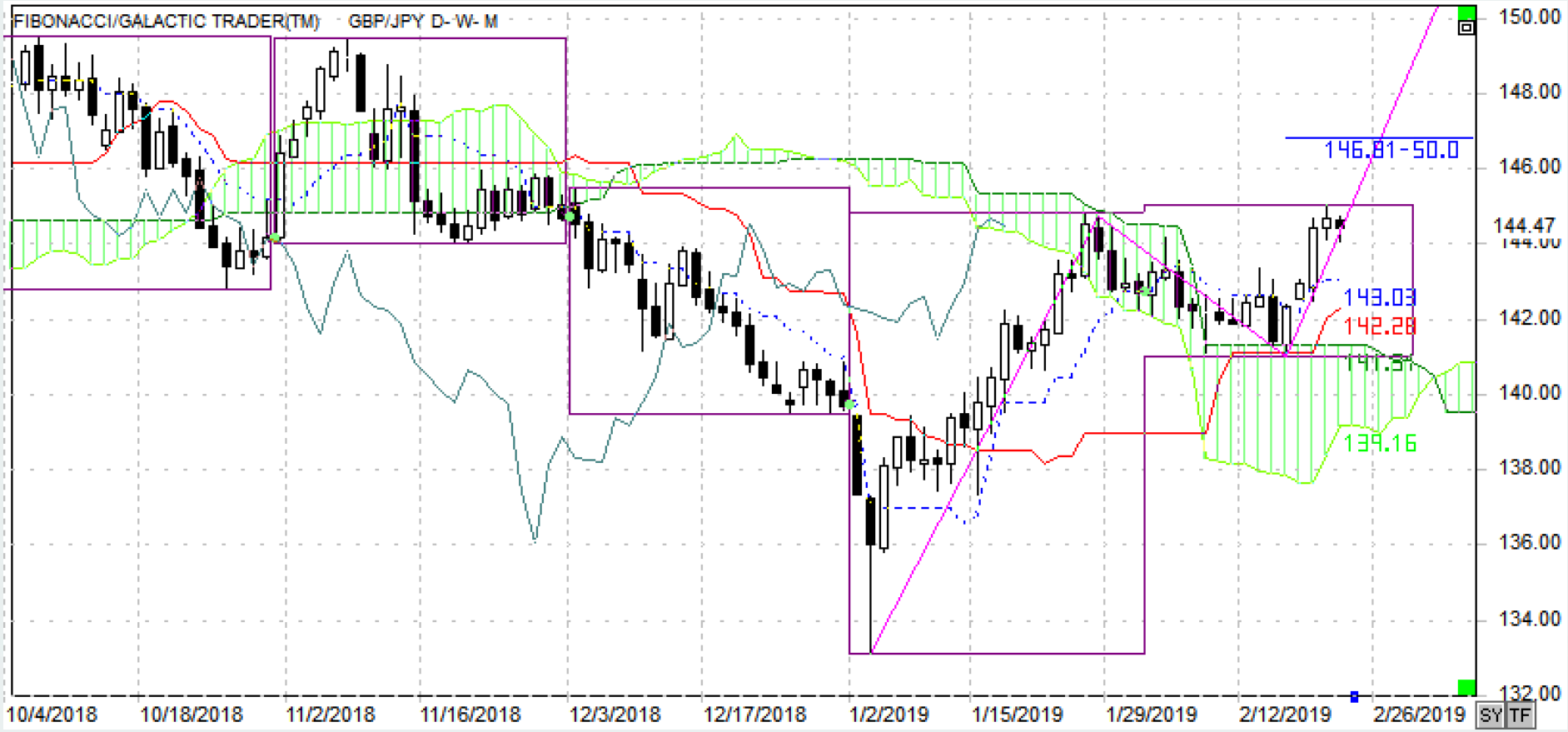
© Ascendant Inc.

ユーロドル



© Ascendant Inc.

ポンド円



© Ascendant Inc.

過去のセミナー検索（2015年～）

- https://www.forex.com/jp/forex-lab/seminars/metatrader#backnumber

© Ascendant Inc.

セミナーサポート掲示板

- http://seminar-support.bbs.fc2.com

© Ascendant Inc.

このあと22時から

- ストックボイス　“World Marketz”
  - 東京証券取引所からLIVEでお送りします
- 視聴は首都圏は東京MX2、中京圏は三重TV
  - その他の地域ではネット配信でどうぞ
  - https://www.stockvoice.jp
- 普段は毎週水曜22:10～22:30に出演中
  - 足元の為替相場解説が中心

© Ascendant Inc.